

ナガツツハムシ 2種の記録

(兵庫県甲虫相資料・218)

高橋寿郎

ヨツボシナガツツハムシ *Clytra arida* Weise について拙文を本誌前号に発表させて頂いたがその後東正雄先生から次の様な採集記録を御教示下さった (Mt. Rokko, Okuike alt. 400m 内外 1 ex., 13-VI-1954, M. Azuma leg.)

また芦屋の西隆広氏からも芦屋市内で採集しているむね連絡頂いた。

本年逢山峠へは所要があって行っていないので本年度は本種の採集は出来なかった。

御教示頂いた御両氏に厚く御礼申しあげる。

ところで同じ亜科に属するクロオビツツハムシ *Physosmaragdina nigrifrons* (Hope) は仲々はっきりした色彩をして美しいツツハムシであるがどうしたものか県下の記録が全くない。ただし筆者は次の通り採集している、相生市三濃山 (7 exs., 20-VII-1974), 飾磨郡夢前町我孫子 (1 ex., 1-VIII-1980) (きべりはむし Vol. 9, No. 1, 1981)。さらに本年亀野市神岡町のススキから 2 exs. 採集した (21-VII-1988)。いずれもススキからの採集で本種の食草がススキと言われているから当然であろうが播磨平野のやや西方域でのみで採集出来ていることと盛夏での採集ばかりである。このあたり調査の方法が悪いのではないかと考えたりしている。

(AUG. 1988)